地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

第18号
平成29年
10月1日発行

上田福祉敬愛学院から あたたかい福祉の担い手へ

p1　チーム敬老園
p2　新しい家族として共に
（EPA受け入れ開始）
p3～4　人財は宝なり
（敬老園の充実した研修体制）
p5～6　敬老園Photo News
p7　五感で味わう敬老園の食事



敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。



No.4

思い出であふれる
母校の図書館を舞台に
3つのテーマをディスカッションしていただきました。

一所で一緒 チーム敬老園

平成18年4月開校の上田福祉敬愛学院第1期生として入学。卒業後は介護福祉士として敬老園で活躍（勤続10年目）している仲良し3人トリオを紹介いたします！

上田 悠馬 しおがわ敬老園 特別養護老人ホーム介護職　副主任
竹内 大 報恩寮　養護老人ホーム介護職　主任
坪内 許希 しものごう敬老園 特別養護老人ホーム介護職　副主任

上田福祉敬愛学院で学んで良かったところを教えてください！

介護についての知識、技術などを教員・講師の方が丁寧に教えてくださいます。また、様々な事業を展開している敬老園の施設で介護実習をすることで貴重な経験を積むことができます。

上田福祉敬愛学院で共に学び、共に苦楽を過ごしてきた仲間が、今も敬老園で一緒に働いています。事業所は違いますが、困ったことや悩みなどを今でも相談できるのは上田福祉敬愛学院があったからです。信頼できる仲間に出会えたのも上田福祉敬愛学院があったからです。

学生生活に於いては、同年代の生徒だけではなく、社会経験がある方も多く在学され、交流を深めることで実際の経験談や自分の糧になる話を聞くことができ、得られる事が多くあると思います。

介護の仕事の魅力は、どんなところですか？

多くの利用者の方や入居者の方に関わり、その人の生活を支えさせて頂く事で感じる事や考えさせられる事が多くあります。入居者の方の子どもや孫ほど年齢が離れていますが、血が繋がっていなくてもその方に関われることや一緒に笑ったり泣いたりと生活をともにできる事が魅力だと感じています。

介護職のみでその方の生活を支えていくのではなく、看護師、リハビリ職、相談員、栄養士、ケアマネなど様々な職種と連携し、その方が笑顔で今までと変わらない生活を送っていただくために常にできることを考え、支援に携わらせていただくことも私たちの仕事の大きな魅力の1つです。

今後の目標を教えてください！

ご利用者が笑顔で安心して過ごせる施設作りをしていく事と職員がやりがいを持ち、誰も（パート職員や子育て中の職員など）が働きやすく助け合える職場環境を作る事です。

そのために多くの先輩職員の方から教えて頂いた知識や技術、自分の経験等も含め、それらを今以上に向上させて支援の幅を拡げていきたいです。現場での関わりのみでなく、入居者の方に必要な法や支援制度などに視野を向け、その方の生活に必要な事を最大限に引き出すことができるように精進していきます。また、職員ひとりひとりの声に真剣に向き合い、信頼される上司を目指します。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

社会人入学もOK！
卒業時の国家試験対策が充実！
就職・進学を100%サポート！

OPEN CAMPUS
オープンキャンパス開催中!!
10/14(土) 2018.2/10(土)
【時間】どちらもAM9:30～
今年度残り2回!!

敬老園一貫の 教育 実習
■介護福祉士養成施設
上田福祉敬愛学院
TEL.0268-27-8341 やさしい
上田福祉敬愛学院 ウェブ検索
QRコードからホームページへGO!!

新しい家族として　共に

8月1日（火）ベトナムとの経済連携協定（EPA）に基づく、ベトナム人介護福祉士候補者男性2名の受け入れ式を行いました。冒頭で斎藤理事長が「シンチャオ（ベトナム語でこんにちは）」と笑顔で語りかけ、今日から共に家族（職員）となるフアム・ハーイ・ロンさんとレー・ホアン・ヒエップさんを歓迎しました。

ロンさんは、「いろいろ教えていただきながら利用者さんのために頑張りたい。」ヒエップさんは、「利用者さんのために一生懸命働きます。」と日本語で挨拶をしてくださいました。

ロンさんとヒエップさんは、うえだ敬老園（上田市中央3）特別養護老人ホームの介護職員として働きながら専門用語の習得や実務経験を積み、約3年半後の介護福祉士の国家資格取得を目指します。

夕方には、みんなで歓迎会を行い、バリアフリーレストラン楽食のおいしい食事を楽しみました。ロンさんとヒエップさんから「富士山に行ってみたい。温泉に入ってみたい。」と希望がありました。日本の生活に早く慣れていただくよう同じ時間を共有したいと思います。



▲左からロンさん、斎藤理事長、ヒエップさん、滝沢専務理事





◀うえだ敬老園の職員と一緒に

敬老園は、平成21年にインドネシアとの経済連携協定に基づく受け入れ（男性2名）を経験しています。研修費や生活面、里帰りの費用等で約4500万円を法人で負担しました。今回も同様ですが、介護の現場は大幅に人材が不足しています。介護の担い手を確実なものとするため10年、20年先の将来も安心して敬老園のサービスをご利用いただけるように一生懸命に取り組んでまいります。

県内各地に、200を超える事業を展開しております。ご利用者年間延約150万人、職員約1200人

社会福祉法人
敬老園

［本部］〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp

■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／後藤・山口】

0120 FreeDial 0120-70-1651　8:30～17:30



研修を通じて学びを得て、敬老園で活きる
人財は宝なり

敬老園では、職員の質の向上を図ることを目的とし、階層別研修、専門研修、法定研修などキャリアアップシステムに沿って様々な研修が行われています。その中で、新たに敬老園に入職して頂いた方々を対象に開催しています「新卒新人研修」と「中途採用時研修」についてご紹介いたします。

新卒新人研修

配属前新人研修 3月中旬～下旬

配属前新人研修では、「学生から社会人への意識改革」を第一の目的とし、これから社会人になることの意味や心構えを学びます。また、法人組織の一員としての意識を持ち、社会人として必要となる基本的な知識やスキル、責任ある行動習慣などを身に付けてもらうための研修期間としています。

その他にも地区別研修や宿泊研修、スポーツ交流など新人職員同士がコミュニケーションを通じて打ち解け合い、同期としての繋がりを強めることも重要な役割を担っています。

受講者の感想

今日で新人研修が終わりました。社会人としての礼儀やビジネスマナーを学び、宿泊研修や先輩方との交流会など沢山のプログラムがあり多くの事を学ばせて頂きました。これから社会人になって沢山の試練があると思いますが、何事にも前向きに一生懸命取り組んでいきたいと思いました。（H29 新人職員）







新人職員フォローアップ研修I
入職から3ヶ月

フォローアップ研修Iでは、仕事も少しずつ見え悩みも増えてくるこの時期に、同期の仲間と成功談や失敗談を語り合うことでのフォロー効果を重視しています。また、地区教育担当者の助言のもと、悩みを解消しながら次へのステップアップを明確にし、不安を少しでも早く解消することで「五月病」を克服する契機となることを目的としています。

受講者の感想

今の悩みや不安を話す中で、同期の皆が同じ悩みや不安を持っていて自分だけじゃないと心が軽くなり、もっと頑張らなければと思いました。同期の皆と思いを共有し合い、お互いを高め合って頑張っていけたらいいなと思います。次のフォローアップ研修で成長した姿を見せられるように初心を忘れず頑張っていきたいと思います。（H29 新人職員）

新人職員フォローアップ研修Ⅱ

入職から8ヶ月

フォローアップ研修Ⅱでは、仕事の基本を再確認し入職以来の仕事の進め方を振り返る時間を設けています。その上で自分の役割・位置づけ、上司や先輩から期待されている役割とは何かを考え、2年目職員として成長していくための目標設定を行います。

受講者の感想

8ヶ月間敬老園で働いて大変なことも楽しいことも辛いことも沢山体験・経験してきました。この体験を通じて自分の自信に繋げたり、逃げずに乗り越える力や誰かに助けを求められる勇気が構築されていくのだと思います。もう少しで私達も先輩になります。自分の仕事に誇りを持ち一生懸命に取り組んでいきたいと強く思いました。（H28 新人職員）





中途採用時研修

中途採用時研修

毎月開催

中途採用時研修では「法人の歴史・理念・風土・社会的意義」の理解を第一の目的とし、その他に「福祉職員としての心構え」や「接遇マナー」について学ぶ時間を設けています。

これまで他の企業で活躍し、社会経験者である中途採用職員は即戦力としての期待が高く早期の活躍が期待されています。そのためにも、自己のキャリアビジョンを明確に描き自己革新計画を立てると共に、これまでの経験を敬老園で活かし組織の活性化の役割を担う事を重視した研修を行っています。

受講者の感想

研修に参加させて頂き、敬老園の歴史や理念の本質、ロゴマークの意味など、職場への意識を深めることができ、組織の一員としての自覚が深まりました。研修全体を通じて、自己紹介やキャリアプランニング発表など参加型のプログラム内容も含まれていたため、受講生同士の交流も深まりとても充実した一日となりました。（H29.5 受講者）



敬老園
Photo News

夏の風物詩「信州上田大花火大会」を全身で堪能!

うえだみなみ敬老園







うえだみなみ敬老園は、特別養護老人ホーム並みのきめ細かい介護サービスを提供する「介護付有料老人ホーム」です。同じ建物内に「認定こども園キッズ・うえだみなみ」と「うえだみなみ乳児院」があり、日頃、こども達との交流により、入居者皆様の笑顔を増やし、生きがいに繋がっています。上田駅から近く、ご家族が訪ねてきやすい場所にあり、居室からは、清流な千曲川と全国的にも珍しい「逆さ霧」の太郎山を目前に臨み、四季折々様々な風景を満喫できます。

その中でも、8月5日に行われました、上田地域の夏の風物詩「信州上田大花火大会」。毎年、県内外から10万人以上の見物客が訪れ、賑わいます。その賑わいのなか、うえだみなみ敬老園ではご利用者・ご家族皆様に一緒に楽しんでいただきたく、100名以上のご家族様が来園され、うえだみなみ敬老園の真上に打ち上げられる花火の大迫力の光と音を全身で堪能されました。ご利用者・ご家族皆様、私達職員も一緒に夏のひと時を楽しむことができました。来年も皆様と一緒に楽しみたいです。

地域と共に歩む 中野ションション祭りに参加

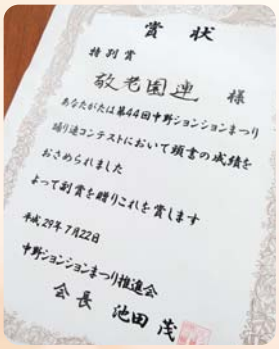
北信地区

7月22日に開催された「第44回 中野ションション祭り」に敬老園連として参加しました。このお祭りは江戸時代、中野市が幕府直轄領の御天領であった事から、祝い事の最後を飾る「御天領締め」から受け継がれています。御天領締めは「よー、ションション、ションションション、ションションション、ショーンション」と言う三本締めです。

3回目の出場となる今回は、衣装を新調して気合充分です。まだ、日差しが残る夕方から終了の花火までの2時間をいっぱいの汗を流しながら全員の気持ちを1つに威勢よく踊った結果、踊り連コンテスト「特別賞」を受賞!みんなで喜びを分かち合いました。

今回、職員同士でより深まったチームワークでご利用者のみなさんが笑顔になれるサービスをしていきます!




賞状
特別賞
敬老園連 様
あなたがたは第44回中野ションションまつり
踊り連コンテストにおいて頭書の成績を
おさめられました
よって副賞を贈りこれを賞します
平成29年7月22日
中野ションションまつり推進会
会長 池田 茂



四季折々の行事を行っています。佐久地区敬老園です。

佐久地区





新幹線の開通と共に都心へのアクセスが向上しました長野県東部にあります佐久市。そしてそんな佐久市佐久平駅から徒歩5分圏内に佐久地区敬老園はあります。

パストラルさくだいらと、さくだいら敬老園（共に住宅型有料老人ホーム）では、それぞれ8月6日に「夏祭り」を行いました。ヨーヨー釣りにわたあめ、かき氷、焼き鳥の屋台が登場した、パストラルさくだいら。大歓声の中スイカ割も行い、おいしいスイカをみなさんで召しあがって頂きました。おおいに盛り上がった夏祭りとなりました。さくだいら敬老園では「施設長に勝ったら豪華賞品が…」と本気のじゃんけん大会が行われ、特別メニューのうなぎちらしとサクサク天ぷらをお昼に頂きました。1階、2階の皆様が同じフロアに集まり、笑顔あふれる夏祭りとなりました。そして暑い中、両夏祭りに「ちんどんバンドさん」をお招きし、ちんどんちんどん♪と賑やかな楽器の音と饒舌な口上もあり、大盛り上がりの中、今年の夏祭りは幕を閉じました。

クリスマスにはクリスマス会。節分には豆まき。春には花見。などなど、皆様に楽しんでいただける四季折々のイベントを行っていきたいと思っております。

OB会と敬老園の共同開催

講演会開催のお知らせ

入場無料

「敬老園OB会」は、敬老園の応援団として職員を温かくバックアップする活動をしてくださっています。そのOB会と敬老園が共同開催で講演会を開催いたします。

人口減少や産業振興といった課題解決に取り組み、人材育成を「使命」とした中村英三氏（長野大学学長）を講師にお招きし、年金・医療・介護・子育て分野の講演をしていただきます。今後の生活に密着したテーマです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

☆テーマ …… **「超高齢化社会を生きる」**
☆講師 …… **中村　英三氏（長野大学学長）**
☆日時 …… **平成29年11月4日（土）**
13時30分～15時
☆会場 …… **社会福祉法人敬老園・上田福祉敬愛学院**
5階 講堂（上田市常磐城2256-1）

お問い合わせ　**OB会事務局**　☎0268-28-1170



心を込めたお食事を提供いたします。

かるいざわ敬老園
軽井沢町大字追分1436


▲栄養課職員

私達、かるいざわ敬老園栄養課は、ご利用者の皆様に「心を込めたお食事を提供いたします。」をモットーに日々のお食事を提供させて頂いております。

食事を摂るという行為には、栄養を摂取する、美味しい食事を楽しむ、季節を感じるなど、様々な意味がありますが、ご利用者の皆様にとって貴重な1食1食を私達が提供する事に変わりはありません。このお食事を提供させて頂くにあたり、日々の業務が単純な作業とならず、心を込めた調理となる様に精進しております。加えて、ご利用者の皆様に私たちの思いが届くように栄養課職員一人一人が考え工夫を凝らしております。その結果、ご利用者の皆様から「すごく美味しかったよ!」「また宜しくね!」というお言葉を頂けると栄養課全体の雰囲気がとても明るくなります。

この「心を込めたお食事を提供いたします。」という思いを胸に、かるいざわ敬老園栄養課一同、ご利用者の皆様へのお食事を提供できる喜びと責任を感じながら日々業務にあたっております。

かるいざわ敬老園
管理栄養士　石山裕一





i食i
がくしょく

安心して楽しくおいしい食事を
お召し上がりいただけます。

バリアフリーレストラン楽食
上田市常磐城2256-1 敬老園本部1階

■ご予約・お問い合わせ先
☎0268-28-0141（おいしい）

